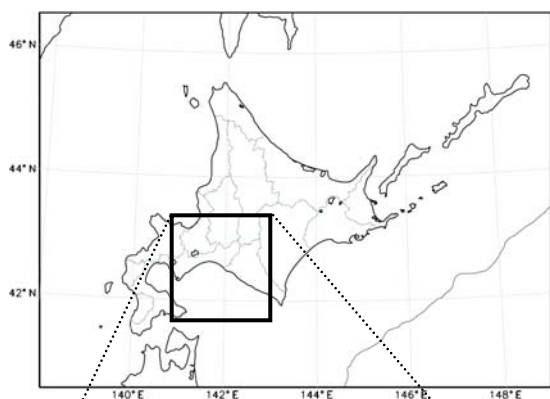


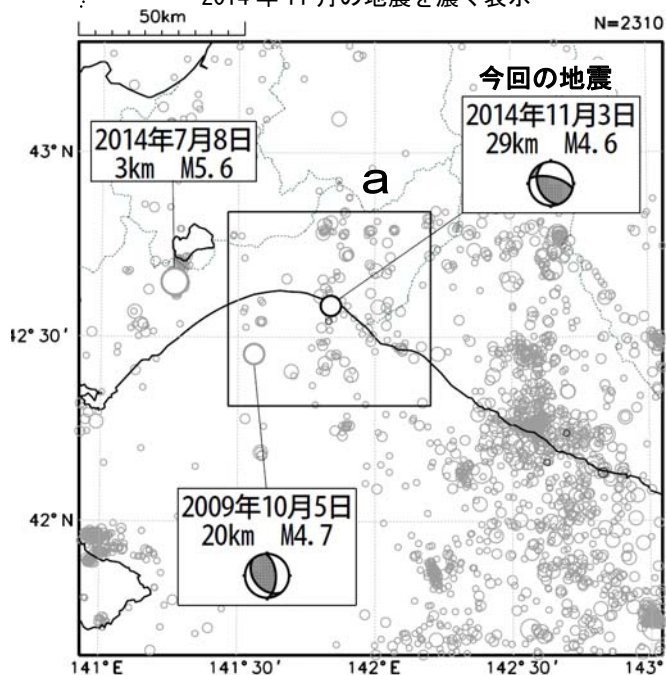
11月3日 苫小牧沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔胆振地方中東部〕である。

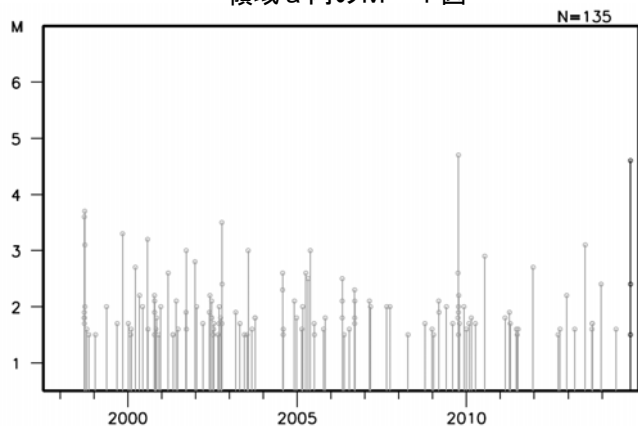
北海道周辺の地図



震央分布図
(1997年10月1日～2014年11月6日、
深さ0～40km、 $M \geq 1.5$)
2014年11月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図

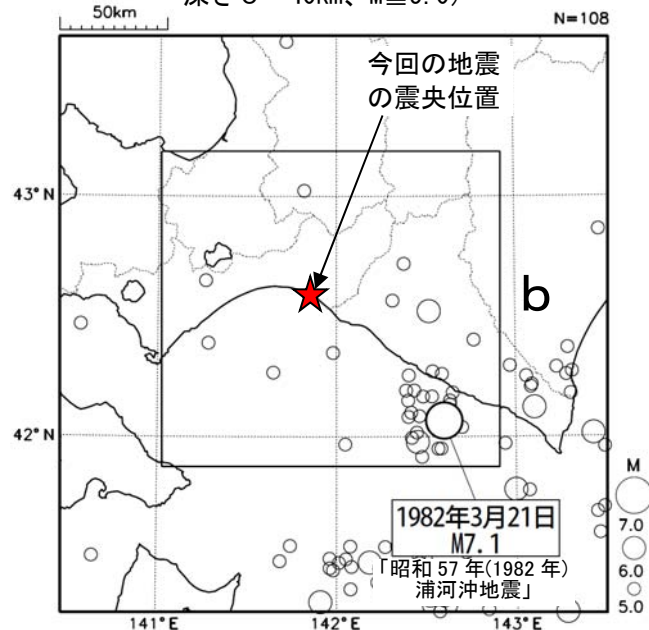


2014年11月3日11時28分に苫小牧沖の深さ29kmで $M 4.6$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北東－南西方向に圧力軸を持つ型である。その後、震度1以上を観測した余震は発生していない（11月7日現在）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、2009年10月5日に $M 4.7$ の地震（最大震度3）が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（ $M 7.1$ 、最大震度6）が発生し、重軽傷者167名、住家全半壊41棟などの被害を生じた（「昭和57・58年災害記録（北海道、1984）」による）ほか、浦河で78cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。

震央分布図
(1923年1月1日～2014年11月6日、
深さ0～40km、 $M \geq 5.0$)



領域 b 内の M-T 図

